

[ 条例施行規則64条関係 (500 t 以上1000 t 未満排出事業者用) ]

(様式第33号) (第64条関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月14日

(宛先) 長野市長 荻原 健司 殿

提出者

住 所 東京都江東区新砂1-7-27

氏 名 大末建設株式会社 東京本店

取締役執行役員 本店長 鶴 浩一郎

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-5634-9015

産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画について、長野市廃棄物の適正な処理の確保に関する条例第79条第1項の規定により提出します。

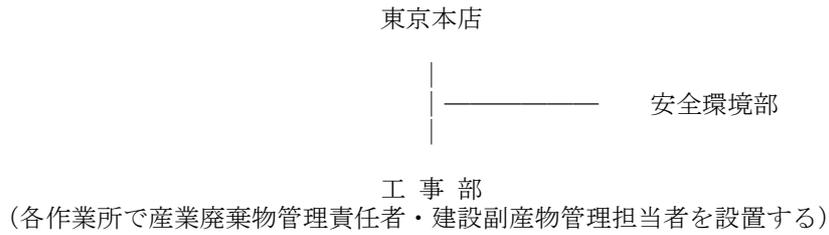
事業場の名称	大末建設株式会社 東京本店
事業場の所在地	東京都江東区新砂1-7-27
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	32,116 百万円 (令和4年度工事完成高)
③ 従業員数	291 人 (令和4年3月31日時点)
④ 産業廃棄物の一連の処理工程	建設汚泥 ⇒脱水 ⇒改良土として再生利用 廃プラ ⇒減容固化 ⇒燃料として再生利用 紙くず ⇒破砕 ⇒燃料として再生利用 木くず ⇒破砕 ⇒チップ材として再生利用 石膏ボード ⇒破砕 ⇒再生材として再生利用 がれき類 ⇒破砕 ⇒再生砕石として再生利用 建設混合廃棄物 ⇒破砕、圧縮 ⇒埋立

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス	建設混合廃棄物(安定型、管理
	排 出 量	264.00t	48.37t	51.98t	17.32t	201.87t	37.65t
②計画	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず				
	排 出 量	26.07t	57.37t				
(これまでに実施した取組) ・再利用可能な材料の引き取り ・内装材の先行加工による低減							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス	建設混合廃棄物(安定型、管理
	排 出 量	237.60t	43.53t	46.78t	15.59t	181.68t	33.88t
②計画	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず				
	排 出 量	23.46t	51.63t				
(今後実施する予定の取組) ・建設混合廃棄物の発生を抑制する為、分別率向上を目指し数値目標を定め活動する (東京本店全体目標 9.5kg/m <sup>2</sup> 以下) <新築工事における混合廃棄物排出原単位> RC造 建築面積 1,000m <sup>2</sup> 以上：9.5kg/m <sup>2</sup> 以下 1,000m <sup>2</sup> 未満：12.0kg/m <sup>2</sup> 以下 S造 倉庫：3.0kg/m <sup>2</sup> 以下 その他：12.0kg/m <sup>2</sup>							

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃プラ、木くず、段ボールの分別を徹底した
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・混合廃棄物を分別し、リサイクル率を高める

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項							
①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス)	建設混合廃棄物(安定型、管理)
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず				
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
(これまでに実施した取組) ・特になし							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス)	建設混合廃棄物(安定型、管理)
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず				
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
(今後実施する予定の取組) ・実施の予定なし							
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項							
①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス)	建設混合廃棄物(安定型、管理)
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず				
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量							
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量							
(これまでに実施した取組) ・特になし							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス)	建設混合廃棄物(安定型、管理)
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず				
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量							
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量							
(今後実施する予定の取組)							

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項							
①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス)	建設混合廃棄物(安定型、管理)
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						
(これまでに実施した取組) ・特になし							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス)	建設混合廃棄物(安定型、管理)
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
(今後実施する予定の取組) ・実施の予定なし							
産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール等)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード等)	がれき類(コンクリがら、廃アス、フェルト、レンガ)	建設混合廃棄物(安定型、管理)
	全処理委託量	264.00t	48.37t	51.98t	17.32t	201.87t	37.65t
	優良認定処理業者への処理委託量		42.42t	51.98t	17.32t	89.39t	37.65t
	再生利用業者への処理委託量	264.00t	5.60t			112.48t	
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず				
	全処理委託量	26.07t	57.37t				
	優良認定処理業者への処理委託量	26.07t	43.89t				
	再生利用業者への処理委託量		13.48t				
認定熱回収業者への処理委託量							
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量							
(これまでに実施した取組) ・委託契約書の添付書類の不備がないように現場・社内でチェックする。 ・所長、若手社員の社内研修で委託業務の研修をしている。							

【目標】		汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール等)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード等)	がれき類(コンクリート、廃アスファルト、レンガ)	建設混合廃棄物(安定型、管理型)
②計画	産業廃棄物の種類						
	全処理委託量	237.60t	43.53t	46.78t	15.59t	181.68t	33.88t
	優良認定処理業者への処理委託量		38.18t	46.78t	15.59t	80.45t	33.88t
	再生利用業者への処理委託量	237.60t	5.04t			101.23t	
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず				
	全処理委託量	23.46t	51.63t				
	優良認定処理業者への処理委託量	23.46t	39.50t				
	再生利用業者への処理委託量		12.13t				
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
(今後実施する予定の取組)							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・優良認定業者に委託する。</li> <li>・再生業者に委託する。</li> </ul>							
※事務処理欄							

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が12以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。  
また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 1

産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処 理 事 項		産 業 廃 棄 物 の 種 類											
		汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード)	がれき類(コンクリガラ、廃アスファルト)	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	紙くず	木くず				合 計
排出抑制に関する事項	前年度排出量(実績)	264.00t	48.37t	51.98t	17.32t	201.87t	37.65t	26.07t	57.37t				704.63t
	本年度排出量(計画)	237.60t	43.53t	46.78t	15.59t	181.68t	33.88t	23.46t	51.63t				634.16t
自ら行う(行った)再生利用に関する事項	前年度実績												
	本年度計画(目標)												
自ら行う(行った)中間処理に関する事項	自ら行う(行った)熱回収の量	前年度実績											
		本年度計画(目標)											
	自ら中間処理により減量する(した)量	前年度実績											
		本年度計画(目標)											
自ら行う(行った)埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	前年度実績												
	本年度計画(目標)												
処理の委託に関する事項	全処理委託量	前年度実績	264.00t	48.37t	51.98t	17.32t	201.87t	37.65t	26.07t	57.37t			704.63t
		本年度計画(目標)	237.60t	43.53t	46.78t	15.59t	181.68t	33.88t	23.46t	51.63t			634.16t
	優良認定処理業者への処理委託量	前年度実績		42.42t	51.98t	17.32t	89.39t	37.65t	26.07t	43.89t			308.72t
		本年度計画(目標)		38.18t	46.78t	15.59t	80.45t	33.88t	23.46t	39.50t			277.85t
	再生利用業者への処理委託量	前年度実績	264.00t	5.60t			112.48t			13.48t			395.56t
		本年度計画(目標)	237.60t	5.04t			101.23t			12.13t			356.00t
	認定熱回収業者への処理委託量	前年度実績											
		本年度計画(目標)											
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績											
		本年度計画(目標)											

【記載方法】

- 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績(現状)を、下段に本年度の目標(計画)の産業廃棄物の量を記載してください。
- 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。